

10月第3回例会プログラム

R4.10.24(月)12:30～ 於：水戸京成ホテル

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング斉唱
3. ゲスト・ビジター紹介
4. 3分間スピーチ
5. 会食
6. 委員会報告
7. 幹事報告
8. イニシエーションスピーチ 荒木会員、小島会員
9. 閉会点鐘

※例会にはマスク着用のご協力をお願いします。

※欠席、メイクアップのご連絡は出席委員会(小林賢会員)まで
ご連絡ください。

今後の予定

10月 地域社会の経済発展月間・米山月間

- 10月30日(日) 地区大会2日目
- 10月31日(月) 30日へ振替

11月 ロータリー財団月間

- 11月6日(日) 児童養護施設 内原和敬寮との交流事業
- 11月7日(月) 振替休会 6日(日)へ振替
- 11月10日(木) 水戸市内6RC 合同例会 於：水戸三の丸ホテル
- 11月14日(月) 振替休会 10日(木)へ振替
- 11月21日(月) イニシエーションスピーチ
- 11月28日(月) 夜の例会 イニシエーションスピーチ

12月 疾病予防と治療月間

- 12月5日(月) 年次総会 次年度役員選出
イニシエーションスピーチ
- 12月12日(月) イニシエーションスピーチ
- 12月19日(月) 休会
- 12月26日(月) 夜の例会

10月17日例会報告

■ 入会式 (木代竜輔新会員・暁鍼灸整体院)



今月もフレッシュな新会員が入会となりました。水戸市は石川町にて鍼灸整体業を営む若き経営者の木代会員です。皆様、どうぞよろしくお願い致します。

木代会員、水戸さくらRCでのご活躍、お祈り申し上げます。

※会員数40名超へ拡大を図ることができました。会員増強により、更なるクラブ活動の活発化、多様化など他のクラブにはない強みとして活動を強化して参りましょう。

■ マルチプル・ポール・ハリス・フェローピン伝達 (井坂純会員)



井坂会員におかれまして、
『マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (第2回)』
の表彰がありました。その証として、ピンバッジの伝達を行いました。
各会員の皆さんも井坂会員に負けず寄付行為や各種奉仕活動に注力してまいりましょう。

■ 米山奨学金の授与



米山奨学生のハヂさんに奨学金の授与を行いました。

言語や文化、学問など十二分に学習いただき、日本や茨城県に対する理解を培っていただけることを期待しております。

■ 10月誕生日を迎える会員のお祝い



10月に誕生日を迎える会員に対して、クラブよりお祝いを贈呈しました。今回は、青木進会員、富島達哉会員、小野瀬将紀会員の3名です。おめでとうございます！

(写真 (左から) : 高野会長・富島会員・小野瀬会員)
※青木会員は当日欠席

■ 卓話 (小林寛之委員長) 『 2022年ロータリー米山記念奨学事業 について 』



第 2820 地区米山記念奨学会寄付増進委員会委員の小林寛之です。まずは概要を説明します。

ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリーが作り育てた独自の事業で、34 地区、全地区が参加する多地区合同プロジェクトです。1952 年に事業が始まって以来、一貫して、日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。

「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」は、この事業をおこなうために、日本のロータリーが協同して運営する奨学財団で、財源はすべてみなさんからのご寄付で成り立っています。この奨学金の最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。今はコロナで難しい部分もありますが、米山奨学生にはロータリー活動に参加してもらい、交流することを大切にしています。

さて、事業の歴史を振り返ってみましょう。終戦翌年の1946年、“日本のロータリーの父”と呼ばれる米山梅吉氏が亡くなりました。3年後の1949年、戦争のため解散を余儀なくされていた日本のロータリーが、国際ロータリーへ復帰します。戦後の落ち着きを取り戻すにつれ、梅吉氏の功績を永遠に偲ぶことができるような、何か有益な事業をやろうではないかという声が大きくなってきました。そして、梅吉氏が米国留学中に奨学金を受けていたこと、個人的に外国人留学生を援助していたことから、1952年、東京RCが「米山基金」の構想を発表しました。これは、アジアから優秀な学生を招いて学費を援助し、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を肌で感じてもらいたい、というものでした。この「米山基金」が、わずか5年で日本の全ロータリークラブの共同事業となり、1967年には財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。

<参考>

米山梅吉氏 (1868-1946)

古澤丈作氏 (1881-1955) 1928年に大連宣言

米山奨学事業は、日本のロータリーが独自の活動として発案し、発展してきました。当然、国際ロータリーのプログラムではないので、RIで取り上げられることもありませんでした。そうした関係が次第に変化してきたのは2000年に入ってからです。

2004年11月のRI理事会では、「奨学金の授与を通し、世界理解と平和に貢献されている財団法人ロータリー米山記念奨学会を称賛する」とされ、ロータリー米山記念奨学会が「多地区合同奉仕活動」(現在は多地区合同活動)の手続きを取ることで、ロータリーの名称やロータリーマークを今後も引き続き使用することを認める、ということが決議されました。2007年には全34地区からの同意を得て、RIの定める多地区合同活動として、すべての手続きを完了しました。そして2014年1月のRI理事会では学友の定義が拡大され、米山学友も「ロータリーの学友」となりました。これを受けて、2016年のソウル国際大会には世界中から多くの米山学友が集まり、ロータリーファミリーの一員として参加したのです。

続いて、奨学事業について少し詳しく見ていきます米山は、外国人留学生を対象とする民間の奨学金では、国内最大規模です。2022学年度は、日本全国で898人(前年度910人)が採用され、各ロータリークラブでお世話をいただいています。累計では世界129の国と地域から2万2,875人を支援しています。奨学生の国・地域別の割合はグラフのとおりです。累計では中国、韓国、台湾が多いですが、ここ数年でベトナムからの留学生が急増しており、現役奨学生の中では中国に次いで多くを占めています。

米山奨学生の採用は、全国統一の基準があります。

1「将来の目標・留学の目的がきちんとしているか」

2「交流への熱意があるかどうか」

3「人柄の良さ」

4「コミュニケーション能力の高さ」

詳しい評価項目は公表していませんが、全国統一の評価項目を使って、各地区の選考委員会が面接選考をし、応募書類の審査もしています。ロータリー米山記念奨学会は2012年に公益財団法人となり、より一層の公平性・透明性を確保するため、このように全地区共通の選考基準で選考をしています。

そのうえで、例えば「国籍や県別割合の調整」「地区独自に実施するグループディスカッションの評価」など、5地区の裁量を加えて良いことになっています。米山記念事業の目的は、日本の文化や日本人の心を留学生に伝え、世界の平和と世界の発展に貢献することが目的となります。なので、米山奨学金はお金に困っている留学生の経済支援ではありません。珍しい国だから、生活に困っているから、学校の成績が優秀だから……。いずれも、ただそれだけでは米山奨学生に合格しないのです。

次に、米山奨学会への過去20年間の寄付金ですが、2001年には約17億円あった寄付金は、近年ではだいたい13~14億円となっています。米山には、クラブから会員数分を納める形の「普通寄付金」と、それ以外に、個人・法人・クラブから、任意で支援していただく「特別寄付金」の2種類があります。いずれも奨学事業に使用されるものですが、特別寄付金の方は、寄付をした個人や法人の実績となり、表彰の対象となります。昨年度、2021-22年度の寄付金収入は13億4,579万円（前年度13億3,684万円）と、その前の年度とほぼ同額でした。みなさまのご寄付はほとんどが奨学金に使われていますが、奨学金以外、例えば地区や世話クラブへの補助費、事業部門の職員人件費などにも一部使われています。

米山奨学事業は、規模が非常に大きい事業であるにもかかわらず、管理費は支出のわずか3%です。

超低金利時代ということもあり、昨年度のように管理費が利子収入を超えてしまうこともあります。基本的には、利子収入で賄っていくよう努めています。（※1）2016年9月に坂本ドネーション・ファウンデーション株式会社(SDF社)から当財団に寄贈された株式の配当金となります。これは、地区別の個人平均寄付額です。昨年度の全国平均は15,971円で、その前の年度より全体で400円ほどアップしました。

最も高かったのは、第2590地区（神奈川県横浜市・川崎市）で28,471円でした。当地区は一人あたりの平均は22,388円で、全国で5番目のご寄付をいただきました。皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。

もう少し詳しく見てみますと、当地区の個人平均寄付額22,388円のうち、普通寄付金は平均4,957円、全国平均は4,920円。また、特別寄付金は17,431円、全国平均は11,051円でした。

<参考>

普通寄付金の金額は、ガバナーが掲げる目標額などに応じて、クラブで決定した金額となっています。

次は、特別寄付者の割合です。全国平均は46.4%、当地区は70.2%でした。ちなみに、全国トップは第2840地区（群馬）で、86%もの会員が特別寄付をしています。寄付の裾野を少しでも広げることが理解を広めることでもあり、地区奨学生採用数アップにもつながります。皆様のご協力をよろしく申し上げます。

では、皆さんが支援した元奨学生たちは、どんな活躍をしているのでしょうか。巣立った奨学生のOB組織、米山学友会は日本に 33、海外に 9 つあります。各学友会ではさまざまな活動をしています。一部ですがご紹介いたします。第 2660 地区（大阪）地区内クラブ主催のレクイエム音楽祭に、学友会が協力して出演した際の写真です。第 2800 地区（山形）学友会では、季節のイベントとして東根名物のさくらんぼ狩りを体験、東京・神奈川にある 4 つの学友会会長らが、総持寺にある米山梅吉翁の墓を掃除しお参り、第 2620 地区（静岡・山梨）学友会では、国の名勝に指定されている三保の松原で海岸清掃活動を行いました。海外の米山学友会も頑張っています。今回は、9 つある学友会のうち、台湾、マレーシア、スリランカ、タイ、それぞれの活動を紹介します。台湾学友会は最も活発に活動している学友会の一つです。特に、2009 年から毎年欠かさず、台湾に留学している日本人学生への奨学金は、今年で 14 年目を支給しています。台湾学友会の奨学金を受けた日本人は、今年 2022 年で累計 47 人になりました。

また、台湾学友会は日本で大きな災害などが起こるたびに、お見舞いメッセージや義援金を送ってくださっています。東日本大震災、2018 年に関西を直撃した台風 21 号と北海道胆振東部地震。また、熱海土砂災害に対しては約 150 万円を皆で出し合い、送金してくれました。7 月に安倍元首相が急逝された際も、多くの学友が弔問記帳をしました。ルックイースト政策 40 周年を迎えたマレーシア。マレーシア学友会ではこの旗印のもと、さらに活動を活発に行っています。今年度は海岸清掃をするだけでなく、大学の海洋研究機関と協力して集まったゴミを分析し、そのデータを政府に提供することで、より良い環境づくりに繋げる、などの工夫をしています。経済危機が心配されるスリランカでも、学友会が毎月 Zoom ミーティングを行い、活動のアイデアを出し合っています。今年度は第 2530 地区の支援で、コロナ禍に喘ぐ地域の病院へ医療機器を寄贈しました。タイ学友会では、医療機関への寄付のほか、貧しい村の子どもたちへ古着や文具、日用品を寄贈したりしています。今年度は、出雲中央 RC による地区世界社会奉仕プロジェクトに全面協力し、高濃度酸素機器やストレッチャーをタイの病院へ寄贈しました。

元奨学生たちは、個人としてもさまざまな形で活躍しています。教育や研究、NPO や NGO、起業する者などあらゆる分野にわたっています。「豆辞典」や「米山学友の群像」、「ロータリーの友」「よねやまだより」等で多くの学友を紹介しています。ぜひご覧ください。ロータリーに親しんだ学友たちは、卒業後も、ロータリーとのつながりを持ち続けたいと願っています。その 1 つとして、ローターアクトに入会する学友、また、ロータリアンとしてクラブに入会する学友がいます。現在、ロータリアンになった学友は 272 人おり、その中には、ガバナーになった学友も 3 人います。また、米山学友が中心となって設立したロータリークラブは国内外に 6 つあるほか、衛星クラブも 2 つ設立されています。

<海外>

- ・台北東海 RC（第 3482 地区）
- ・台中文心 RC（第 3461 地区）

<国内>

- ・東京米山友愛 RC（第 2750 地区）
- ・東京米山ロータリーE クラブ 2750（第 2750 地区）
- ・さいたま大空 RC（第 2770 地区）
- ・茨城ロータリーE クラブ（第 2820 地区）

<参考>

※ガバナーになった米山学友

1 人目：韓国の林隆義さん（リムユンウィ/1997-98 年度 第 3650 地区ガバナー）

2 人目：台湾の許国文さん（きょこくぶん/2005-06 年度 第 3490 地区ガバナー）

3 人目：台湾の林華明さん（りんかみん/2015-16 年度 第 3520 地区ガバナー）

※韓国では 2016 年に、米山学友による衛星クラブ、「韓国米山セソウル・ロータリー衛星クラブ」が設立されましたが、残念ながら現在は解散しています

2011 年、東日本大震災が起きた時に、発生直後から日本の無事を願うメッセージが相次いで寄せられ、国内外の学友から 760 万円の義援金が送られました。熊本大地震の時にも、上海米山学友会から 20 万円が寄せられました。そして 2021 年 7 月、熱海で発生した土砂災害のニュースを見た台湾学友会がすぐに募金を開始し、米山学友 60 人から寄せられた 150 万円を台湾から送金してくれました。米山奨学会へのご寄付のほとんどはロータリアンによるものですが、実は学友からも、先ほどの災害義援金以外に、累計 4,506 万円の寄付をいただいています（2022 年 6 月末）。毎月 1 万円、毎月 2,000 円など、こつこつ継続して送金してくれている学友もいます。こうした「寄付」という形でのロータリーへの恩返しは、他のプログラムではあまりみられないものです。

最近の例を紹介します。今年 4 月、アメリカ在住の米山学友から突然「米山奨学会に寄付したい」というメールが奨学会に送られてきました。メールの主は、今から 60 年前の奨学生、中国出身の周順圭（しゅうじゅんけい）さんです。周さんは 5 月に事務局を訪問し、50 万ドルの寄付を表明しました。

「僕は中国と日本、アメリカの教育機関に寄付をしています。人生でお世話になったこの三つの国に仲良くしてもらいたいし、そのためには若者にもっと交流してほしいという気持ちがあるからです」

このように語っていただきました。

最後に、皆さんに知っておいていただきたいことを 3 点お伝えします

米山奨学会が財団設立 50 周年を迎えたことを皮切りに、2017 年から 2 年に 1 度、世界から学友が集まる「集い」を学友会主催で開催しています。次回は 2023 年 8 月 5~6 日、関東の 10 地区学友会が主催する「再会 in 関東」が、茨城県つくば市で開かれる予定です。登録は来年（2023 年）から始まる予定で、この大会に向けて、各地区米山学友会によるチャリティ奉仕リレーも計画されています。詳細は、米山奨学会ホームページなどで随時ご案内します。ぜひご参加ください。

<参考>

過去に開催された世界米山学友の集い

1 回目：2017 年「感謝 in 熊本」

2 回目：2019 年「絆 in モンゴル」

（2021 年「出会い in 台湾」がコロナのため中止）

そして、危機管理ですが、米山奨学生は、ほぼ全員が成人しているとはいえ、まだ大学・大学院の学生です。青少年交換学生と同様に、彼らの安全を常に気にかけてくださいますようお願いいたします。

①自然災害の場合。有事の際、奨学生と世話クラブ役員、または、奨学生と地区米山委員会、あるいは学友も含めた SNS グループを作っておくと、いざというときに迅速に確認を取ることができます。

②病気や事故。留学生は国民健康保険に加入しているので、医療費は3割負担ですが、入院・手術の際に必要な高額医療費の申請手続きは、外国人にとって非常に難しいものです。また、海外でのケガや病気は不安が大きいため、できる限りケアをお願いします。米山記念奨学会では、2020年4月から、現役奨学生が例会出席の道中に起きた事故や病気に対する保険に加入しています。何かあれば申請してください。

③ハラスメント。セクハラ・パワハラに巻き込まれないために、奨学生とできるだけ接しないようにする…というのは、事業本来の目的から遠ざかるものです。米山奨学会では専用電話ダイヤルを設けており、奨学生はもちろん、ロータリアンも相談可能です。また、ロータリアンが訴えられた場合の賠償責任保険もありますが、適用範囲は、ガバナー、クラブ会長、地区米山奨学委員長などです。何か問題が発生した場合は、まずは地区米山奨学委員会へ迅速な報告・相談をお願いします。

参考：『カウンセラー・ハンドブック 2022 学年度』

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、実際の奨学生の選考、お世話などの業務を、地区・ガバナー・世話クラブへ「委託」する形となっています。これまではその点を明文化することなく運営してきましたが、内閣府からの指摘により、「業務委託に関する規程」を整備しました。

まず、「米山奨学会」と「地区」との間で覚書を交わし、続いて「地区」と「世話クラブ」との間で覚書を締結していただいています。これは、1回限りではなく、毎年実施するものです。奨学生に関してやっていただく内容は、これまでと変わりありません。今年も12月頃から奨学会とガバナー・ガバナーエレクトとの間で覚書を交わし、来年2月頃から、地区と、世話クラブ会長・会長エレクトとの間で覚書を交わしていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

<参考>

- ロータリー年度（7~6月）と奨学生の学年度（4~3月）が異なるため、地区においてはガバナーとガバナーエレクトの連名、世話クラブにおいては会長と会長エレクトの連名によるサインが必要です
- 地区では2023学年度奨学生の世話クラブが決定次第、正式採用までの間に、世話クラブとの覚書締結を行っていただくこととなります

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は2018年、内閣府賞勲局（しょうくんきょく）から、「紺綬褒章（こんじゅほうしょう）」の公益団体に認定されました。これにより、2018年9月12日以降、個人の場合は500万円以上、団体・企業などは1,000万円以上を当会へ寄付していただき、定められた条件を満たした場合に、紺綬褒章の授与申請をいたします。あらかじめ申し出ていただいた場合には、分納による寄付も可能です（分納期限に制限はありません）。

最後になりますが、米山記念事業は、皆様のご寄付によって支えられています。

日本の文化・日本人の心を世界各国からの留学生に伝え、世界の平和と世界の発展に貢献する。この米山記念事業にぜひ皆様の手を貸していただきたいと存じます。10月は米山月間です。特別寄付25000円です。受付事務局でご寄付のほど、よろしくお願いいたします。

以上で、卓話を終わります。 ご清聴、ありがとうございました。

幹事報告

■第三分区親睦ゴルフ大会参加者は参加費を 10/24 までに 5,000 円を事務局まで収めてください。

■水戸 6 R C 合同例会参加者

会場出席者は会費として自己負担分 3,000 円を事務局まで収めてください。

オンライン参加の方は、各自オンラインの申込みをお願いいたします。

会場委員会の方へ 11 月 9 日までにクラブ旗、参加者の名札を水戸三の丸ホテルに運んでください。

■地区大会参加者の皆様へ

当日会場へのバスの利用はございません。各自乗り合いで会場へお願いいたします。

2023～2024 年度 役員・理事告示

指名委員会 高野 義久

2022 年 10 月 17 日（月）11 時 30 分より京成ホテル 4F にて指名委員会を開催致しました。

5 期前荒川パスト会長、10 期前大澤パスト会長、ガバナー補佐経験者大木会員、岡田会長エレクト、現会長の高野の 5 名で次年度理事を選出いたしましたので、ここに告示致します。

申し立てがございました場合、11 月 28 日（月）までに、代替えの会長、幹事、副会長、会計の氏名を記載の上、委員長である高野までご連絡ください。

次年度の役員理事は 12 月 5 日（月）の年次総会で皆様からご承認を頂きます。

会長	岡田 晃
副会長	磯崎 博文
副会長	小林 一裕
幹事	平山 哲也
会計	大澤 一茂
直前会長	高野 義久
理事	杉山 武己
理事	小野瀬 将紀
理事（副幹事）	古賀 裕基
理事	齋藤 信二

※敬称略

委員会報告

■出席委員会 小林賢委員長

2022年9月末時点における例会出席状況に関して、出席率100%の会員を報告致します。(敬称略)

坏愛子・荒川誠司・井坂純・大木清実・大澤一茂・大根田ケイ・岡田晃・小林一裕
 小林寛之・小林賢・鈴木正人・高槻一雄・高野義久・平山哲也・和田公一郎・古賀裕基・磯崎博文・齋藤信二
 岡田柊・富永恭介・杉山武己・荒木元史 以上、22名

ニコニコ BOX 報告

■10月17日例会

氏名	内容
鶴田 一郎 (土浦RC)	「毎回千円をニコニコへ」をしております。今回は水戸さくらRCへ出席します。
高野 義久	木代会員の入会を歓迎いたします。
小林 一裕	木代様、ご入会おめでとうございます。
岡田 晃	木代さん、入会おめでとうございます。活躍を期待しております。
古賀 裕基	木代さん、入会おめでとうございます。これから、諸々よろしくお願ひします。
杉山 武己	木代会員、ようこそさくらRCへ。宜しくお願ひします。
安 隆行	木代会員、入会おめでとうございます。宜しくお願ひ致します。
木代 竜輔	本日入会の木代です。今後ともよろしくお願ひ致します。

集 計

10月17日	8件	合計15,000円	累計 267,000円
--------	----	-----------	-------------

例会出席状況報告

■9月第3回(9月18日)(ロータリーデー環境保全活動)訂正例会出席報告

在籍	計算会員数	出席 A	訂正前出席率	メイクアップ数 B	A+B	訂正出席率%
40名	38名	22名	57.89 %	0名	22名	57.89 %

■当日欠席者(敬称略)

池田勇夫・井坂純・岡田晃・鈴木正人・根本佳典・平山哲也・古賀裕基・高久輝芳・小野瀬将紀・鬼澤卓
 岡田柊・富永恭介・大塚匠・ヒッチコック弥生・豊田一雄・須藤涼子

【出席免除】青木進・井小萩誠

■ゲスト・ビジター

高橋 靖 氏	水戸市長
--------	------

■10月第1回(10月1日)笠原水道清掃活動

在籍	計算会員数	出席 A	訂正前出席率	メイクアップ数 B	A+B	訂正出席率%
40名	38名	17名	44. 74%	0名	17名	44. 74%

■当日欠席者(敬称略)

坏愛子・池田勇夫・大澤一茂・大根田ケイ・鈴木正人・根本佳典・古賀裕基・高久輝芳・磯崎博文・齋藤信二
鬼澤卓・富永恭介・荒木元史・柴崎芳輝・大塚匠・安隆行・長澤新・潮田智彦・ヒッチコック弥生・豊田一雄
須藤涼子

【出席免除】青木進・井小萩誠一

■ゲスト・ビジター

高橋 靖 氏	水戸市長
穴澤 俊雄 氏	笠原不動尊再生の会 会長

■10月第2回(10月17日)

在籍	計算会員数	出席 A	訂正前出席率	メイクアップ数 B	A+B	訂正出席率%
41名	39名	28名	71. 79%	0名	28名	71. 79%

■当日欠席者(敬称略)

坏愛子・鈴木正人・根本佳典・高久輝芳・磯崎博文・鬼澤卓・富永恭介・大塚匠・長澤新・潮田智彦・須藤涼子

【出席免除】青木進・井小萩誠一

■ゲスト・ビジター

鶴田 一郎 氏	土浦RC
サブテラ,ヘンリカスマン ハヂ 氏	米山奨学生

■会員メイクアップ

会員名	メイクアップ先	月 日	該当月日
高野 義久	水戸RC	10月18日	
小林 一裕	水戸RC	10月18日	
小林 賢	水戸RC	10月18日	
岡田 柊	水戸RC	10月18日	
柴崎 芳輝	水戸RC	10月18日	

1991年10月28日創立、1991年11月13日認証

■ 会長 高野 義久 幹事 小林 一裕

■ 事務所
〒310-0021 水戸市南町2丁目5-5 常陽銀行本店内
TEL 029(231)2151、直通 029(225)4820、FAX(225)4825
会報・雑誌委員長 古賀 裕基[TEL 0120-740-600]
副委員長 岡田 柊

■ 例会日 毎週月曜日 12時30分
(但し毎月末月曜日は18時30分より)

会場 水戸市三の丸1-4-73
水戸京成ホテル
TEL 029(226)3111(代)